

事業計画書

1 管理運営についての基本方針等

(1) 施設の管理運営についての基本方針

有限会社西浅井総合サービスは、行財政改革の一環で、行政のスリム化を図るために事務事業のアウトソーシングの受け皿としての役割を果たしています。

当社は、民間が実施することでより充実したサービスが見込める事務事業を積極的に受託し、住民の力を生かして効率よく取り組んでいます。地域に設けられた公の施設を連携し、地域の特性を生かした取り組みを行うことにより、地域の活性化に寄与することができ、市民にも親しまれ、健康・福祉の増進にも役立つ施設となると考えています。また、一括管理による効率的・効果的な運営を行うとともに、地域住民や施設利用者の意見・要望を管理運営に最大限反映させ、管理体制を整えることにより、利用者の満足度を高め、今後とも多彩な事業に取り組み、魅力をより一層充実、強化していきます。

管理運営の基本方針

- ア 安全・安心・快適な管理運営
- イ 利用者視点に立ったサービスの向上
- ウ 住民との協働による管理運営
- エ 地域に貢献する管理運営
- オ 交流人口の拡大と地域経済の活性化を目指す運営

(2) 指定管理者を希望する理由・目的

西浅井地域の資料館、直売所、宿泊施設、駅前施設は、当地域への来訪者を迎える重要な施設であり、それぞれの役割は違っても、地域の振興を図る上で深く連携しており、一括管理することで、情報を共有し、充実した地域全体での「おもてなし」のサービスを提供することができます。

これらの施設を連携し、利用者の便宜を図るための新しいサービスを創造し、施設の機能を最大限に生かすことでこの地域の魅力に繋げ、賑わいを創出することができるため、これらの施設の指定管理者となることを希望します。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

2 組織体制・職員配置等

(1) 管理運営の組織体制

別紙 1

有限会社西浅井総合サービスは、西浅井地域を中心に人材を集めて育成し、それぞれの施設を支えるスタッフを年間契約で現在30人雇用しています。そのほかに施設運営に必要な協力団体の創設を主導し、奥びわ湖水の駅農林水産物出荷組合（280人）、西浅井町農産物加工グループ「さざなみ工房」（40人）、西浅井町体験民宿組合（4宿）、有限会社カンポ（20人）の活動も支援しています。いずれの団体とも深い信頼関係で結ばれており、それぞれの団体を通して地域での活動が広がり、人材育成と雇用の面で大きな効果を上げることができます。

(2) 管理運営に係る職員配置

役職	担当業務内容	資格・能力等	雇用形態	勤務形態
北淡海・丸子船の館				
管理員	受付、案内		年間雇用	管理員3名の交代勤務
施設長（総支配人総務部勤務）	施設管理	甲種防火管理者		1人18時間/週
奥びわ湖水の駅				
施設長	施設の管理運営	甲種防火管理者	年間雇用	40時間/週
管理員	販売・施設管理		年間雇用	40時間/週
つづらお荘				
施設長（総支配人総務部勤務）	施設の維持管理	甲種防火管理者	年間雇用	40時間/週
支配人	施設の運営管理		年間雇用	40時間/週
海道・あぢかまの宿関連施設				
管理員	駅業務	券売業務講習修了者	年間雇用	管理員2名の交代勤務
施設長（総支配人総務部勤務）	施設管理	甲種防火管理者		1人28時間/週
永原駅コミュニティハウス関連施設				
管理員	駅業務	券売業務講習修了者	年間雇用	管理員2名の交代勤務
施設長（総支配人総務部勤務）	施設管理	甲種防火管理者		1人28時間/週

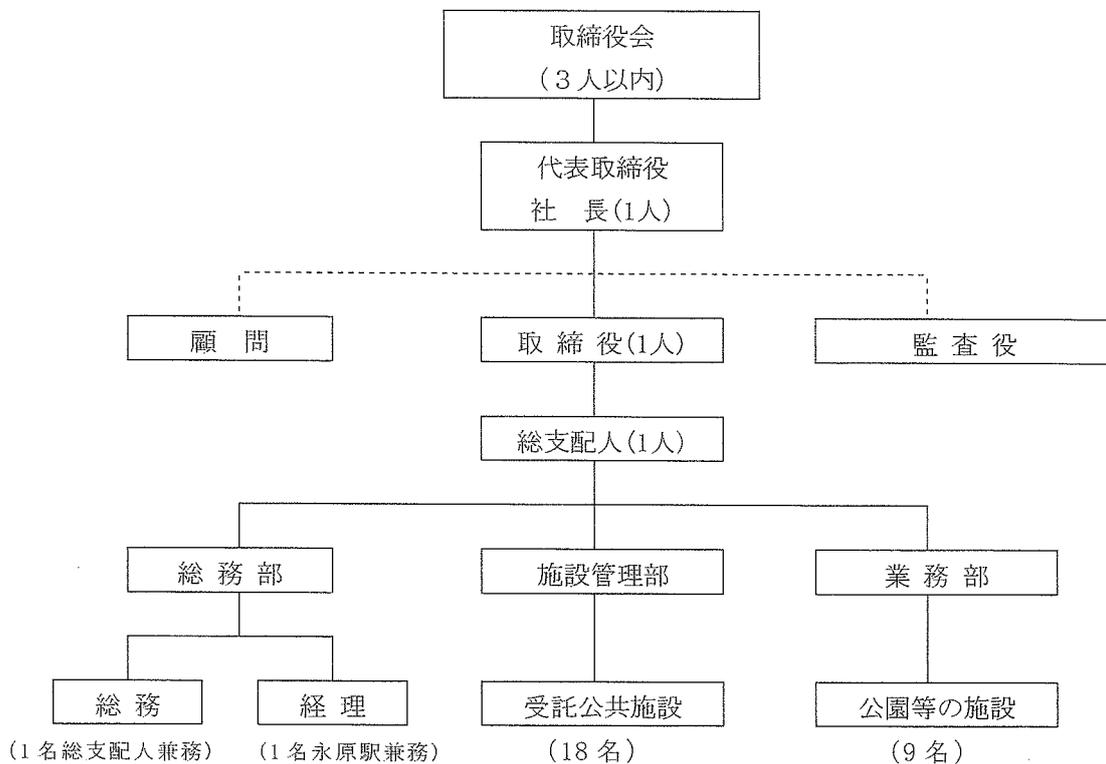
(3) 人材育成の考え方や職員の研修計画等

各指定管理施設に応じて、各関係機関が開催する講習会や研修会等には、積極的に参加させ、適正な管理運営ができるよう努めます。

- ア 基本職員研修：人権尊重、個人情報保護、接遇、法令遵守、交通安全
- イ スキルアップ研修：経営、経理、防火管理、観光情報

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

管理運営の組織体制



指定管理施設
(長浜市)

- 北淡海・丸子船の館 (指定管理)
- 奥びわ湖水の駅 (指定管理)
- つづらお荘 (指定管理)
- 海道・あちかまの宿関連施設 (指定管理)
海道・あちかまの宿
近江塩津駅前駐輪場所
近江塩津駅前駐車場
- 永原駅コミュニティハウス関連施設 (指定管理)
永原駅コミュニティハウス
永原駅前駐輪場所

【体制のつながり】

施設管理部では、それぞれの指定管理施設に担当する職員を配置します。

全ての施設を統括する総支配人の采配で、施設間の職員を異動し、または増員することで、状況に対応する充実したサービスを提供できる体制を整えます。

3 利用促進等

(1) 各施設の利用促進に向けた具体的な取組

(施設の特徴を活かした自主事業の展開を含む。) 及び達成目標

① 北淡海・丸子船の館

丸子船の歴史を調査し、地域の魅力ある資源としてホームページで詳しく紹介し、国内に広める自主的な活動を続けていきます。これまでどおり地道な活動を続け、丸子船がこの地域のシンボルといわれるように知名度を高めます。また、地域との協働によるイベントの開催や新たな展示物の掘り起こしを行うとともに、丸子船を題材とした講演会を長浜城歴史博物館の学芸員の指導・支援を受けながら開催します。

② 奥びわ湖水の駅

直売所の取り組みの規模を大きくし、集客を図り、農業を守っていききたいという住民の思いに応え、これを運営面で実現します。

現在、出荷参画者が地域で350人を超え、農林水産業の振興と高齢者の生きがい促進に役立っています。今後は、若い人たちにも参加していただける地盤を作り出していきます。

7月には、農林水産物出荷組合を中心に水の駅夏まつりを開催し、11月、3月には西浅井地区地域づくり協議会を始め、地域の各種団体と協働で地域振興イベントを開催することで、顧客を新たに掘り起こし、集客の増加につなげます。また、直売所裏の農地を借り上げて活用し、花畑の開設や芋などの収穫体験を実施します。

ホームページによるPRは、非常に有効であり、日々更新するとともに、より魅力あるものに改修します。

栽培ハウスを活用した栽培実験・実証と販売普及活動を継続して実施します。

農作物栽培相談室を毎月1回開催し、栽培技術の向上と品質の安定をはかります。また、出品時検査の実施により、安全で安心な商品を提供できる体制をさらに向上させます。

インターネットを活用することで、出荷参画者が商品の売れ行きを30分間隔で確認できるシステムを今後も維持し、これをフルに活用することで、商品の店頭品切れを防ぎ、販売拡大に努めます。

③ つづらお荘

美しい景観を楽しむ観光に、自然との体験を加えることで誘客を図れることが、これまでの経営で明確となっています。西浅井町体験民宿組合の要望を受けて、平成16年に新館レントラが増築され、宿泊者の受入が拡大されましたので、これを生かした運営を行います。

現在、インターネットによる魅力ある体験プランの提供で、毎年7000人を超す宿泊客を維持しています。今後も宿泊客を対象にした体験プランの充実を図るとともに、旅行代理店やネット旅行事業者を活用し、過去の利用客への営業と併せて利用者の増加を図ります。

④ 海道・あぢかまの宿関連施設

近江塩津駅は、地域の玄関口として乗車券を販売するとともに、観光案内やレンタサイクル事業を行い、通勤・通学の利用者をはじめ、観光客に対し、駅での利便性を高めます。

⑤ 永原駅コミュニティハウス関連施設

近江塩津駅と同様に地域の玄関口として乗車券を販売するとともに、観光案内やレンタサイクル事業を行い、通勤・通学の利用者をはじめ、観光客に対し、駅での利便性を高めます。また、琵琶湖周辺や文化的景観の優れた菅浦への誘客を図り、観光客の鉄道利用とレンタサイクルの利用増を図ります。

施設2階の多目的ギャラリーについては、水源の森100選である貴重な高層湿地の保全活動を行っている山門水源の森の企画展や地域の写真愛好家による写真展等を開催し、地域住民と駅利用者との交流の場を提供します。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

【達成目標】

施設名	年度	利用者数		積算根拠
北淡海・ 丸子船の館	平成 26 年度	1,850		H24 来客数 1,497 人 約 20%増 353 人増
	平成 27 年度	1,850		
	平成 28 年度	1,850		
奥びわ湖水の駅	平成 26 年度	537,000		H24 入込客数 527,013 人 約 2%増 9,987 人増
	平成 27 年度	537,000		
	平成 28 年度	537,000		
つづらお荘	平成 26 年度	宿泊	9,800	H24 宿泊 9,699 人 約 1%増 101 人増
		休憩	5,000	
	平成 27 年度	宿泊	9,800	H24 休憩 4,294 人 約 16%増 706 人増
		休憩	5,000	
	平成 28 年度	宿泊	9,800	
		休憩	5,000	
海道・ あぢかまの宿 関連施設	平成 26 年度	12,200		普通乗車券発売件数 11,000 件 イコカチャージ件数 1,200 回
	平成 27 年度	12,200		
	平成 28 年度	12,200		
永原駅コミュニ ティハウス 関連施設	平成 26 年度	10,505		普通乗車券発売件数 9,000 件 イコカチャージ件数 1,500 回 多目的ギャラリー利用 5 回
	平成 27 年度	10,505		
	平成 28 年度	10,505		

(2) 地域・関係機関・ボランティア等との連携についての考え方や方策

指定管理施設の管理に当たっては、社会貢献を考える地元地域の余剰労力を活用し年間雇用契約者または、日々雇用契約者で運営するものとします。

北淡海・丸子船の館では、歴史・生活文化の伝承のため、びわ湖水運の歴史をもつ大浦集落や塩津浜集落との連携を特に密にして、信頼関係を保ち、個人所有の資料提供や保存・保管を進めていきます。

つづらお荘では、体験型観光を進めるため、加盟する奥びわ湖観光協会や山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会、文化的景観の優れた菅浦集落との連携を密にして、信頼関係を保ち保全啓発を行うボランティアガイドとの調整を図っていきます。

奥びわ湖水の駅では、安全・安心な魅力ある商品を確保するため、農林水産物出荷組合や農産物加工グループとの連携を密にして、信頼関係を保ち、生産技術が向上するよう研修会等の支援を実施していきます。

(3) 施設のPRや情報提供など広報活動についての効果的な取組

当社は、指定管理施設を紹介するホームページをすでに開設していることから、これを活用し、なお一層工夫を凝らし、多くの方に魅力ある情報を提供します。

国道8号道の駅情報館を活用し、ポスター、リーフレット、チラシによる媒体で情報提供を図ります。国土交通省の道の駅情報館は、当社が直売所と同時に管理することから、この施設の機能を生かして積極的に情報提供を行います。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

4 サービス向上等

(1) 利用者等からのニーズの把握方法

施設利用者のニーズを把握するため、各施設でアンケートを実施するほか、インターネットのホームページから意見の聞き取りを行います。

アンケート回収ボックスは、各施設の玄関ホールに常時設置し、利用客に投函しやすい状況をつくります。また、安心感を与えられる接客とコミュニケーションによる情報収集は非常に有効であり、直接、職員が利用者のニーズを把握できるようコミュニケーション能力の向上に努めます。

(2) 利用者等からの苦情等に対する対応

苦情については、利用者に対する説明不足から発生する事が多く、未然防止策として、お客様への説明が十分にできるよう職員間の情報交換に努めます。

苦情が発生した場合は、組織の代表としてお客様の話を聞き、冷静になって内容の正確な把握に努めるとともに、毅然とした対応をとるよう指導します。また、再発防止に向けた職場内の研修もその都度行っていきます。

(3) その他サービスの質を維持・向上するための取組

① 北淡海・丸子船の館

近隣の宿泊施設や大浦観音堂など観光施設と連携し、観光客のための情報を共有し、来館者に幅広い対応ができるよう努めます。

② 奥びわ湖水の駅

農作物栽培相談室への参加、農業普及員との連携、生鮮食品販売に伴う食品衛生講習への参加を職員・協力団体・出荷参画者に促し、サービスの質を向上させます。

販売品の品名、レシピ等お客様の問いに即座に対応できるようインターネットを活用して情報の収集を行います。また、職員同士はもとより出荷参画者との間で情報を共有し、お客様の問いに対応できる知識を身につけます。

③ つづらお荘

客室に顧客アンケート用紙を置き、顧客の声を集めて、迅速に対応します。

顧客カルテを作成し、嗜好品、旅行目的等の項目を記録し、満足度を増すサービスの提供に利用します。

料理のお品書きを作成し、食事と一緒に提供することで、満足度を増すサービスに努めます。

④ 海道・あぢかまの宿関連施設

観光客誘致のために、施設近郊の観光施設と連携するとともに、知識・情報を習得し、来訪者に幅広く対応できるよう努めます。

⑤ 永原駅コミュニティハウス関連施設

観光客誘致のために、施設近郊の観光施設と連携するとともに、知識・情報を習得し、来訪者に幅広く対応できるよう努めます。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

5 施設の管理運営等

(1) 施設の管理運営における経費節減のための取組

LED電球への順次交換及び照明器具等必要時以外の消灯による光熱費の節減、機器点検、修繕、草刈など総務部の職員を主体に行っていきます。業務に支障を及ぼさない範囲で調整し、各職員の特技もフル活用し、経費削減に向けた取り組みを進めていきます。

(2) 利用料金の設定及び設定根拠

施設名	区分	使用料	利用料金(案)	利用料金の設定根拠
北淡海・丸子船の館	入館料 一般	個人1人 300円 団体1人 240円	個人1人 300円 団体1人 240円	長浜市条例による
	入館料 児童・生徒	個人1人 150円 団体1人 120円	個人1人 150円 団体1人 120円	長浜市条例による
(上記団体は20人以上)				
奥びわ湖水の駅	直売所	販売額の 30%以内	実演販売部門(テナント方式による販売額の5%) 加工販売部門(テナント方式による販売額の5%) 生産販売部門(委託販売方式による販売額の15%) 加工販売方式(委託販売方式による販売額の15%)	長浜市条例による
	加工所			
	栽培ハウス			
	交流館			
つづらお荘	国民宿舎	和室 1室1泊 7000円	和室 1室1泊 7000円以内	長浜市条例による
	活動拠点 滞在施設	和洋室 1室1泊 10,000円	和洋室 1室1泊 10,000円以内	長浜市条例による
	体験交流施設	浴室 1人1回 500円 体験自習室 1時間 1,000円	浴室 1人1回 500円 体験自習室 1時間 1,000円	長浜市条例による
永原駅 コミュニティハウス	多目的 ギャラリー	1日 1,000円	1日 1,000円	長浜市条例による

(3) 維持管理業務（清掃・保守点検・警備等）の内容、方法、頻度

施設床面・トイレ清掃	専門業者委託	年 4 回
消防設備点検	専門業者委託	年 2 回
火災時通報業務	専門業者委託	常時監視
エレベーター保守点検	専門業者委託	毎月 1 回
ボイラー・浴槽水ろ過器保守点検	専門業者委託	年 2 回
灯油地下タンク及び配管気密・浴槽水質検査	専門業者委託	年 1 回

すべての指定管理施設で職員による日常清掃を実施します。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

6 その他

(1) 利用者の個人情報を保護するための取組

個人情報取扱事業者として「個人情報保護に関する法律」および「長浜市個人情報保護条例」を遵守し、個人情報を適正に取扱います。守秘義務に関しても職員への周知・徹底を継続します。また、各施設における個人情報データの保管は、鍵をかけて厳重に行います。

(2) 施設の管理運営における環境に配慮した取組

LED電球への順次交換及び照明器具等必要時以外の消灯による光熱費の節減に努めます。

ゴーヤなどのグリーンカーテンを南の窓に設置し、夏場の室内温度の上昇を防ぎます。

(3) 防災、防犯その他緊急時（災害・事故等）の対応及び危機管理体制

利用者の安全確保を最優先とし、救護活動に努めるとともに、関係機関への手配・連絡を徹底します。また、訓練・研修により職員の危機対応能力を高めるとともに、事前及び事後の対策を考えて、不測の事態への備えを強化します。

危機管理体制マニュアル 別添のとおり

(4) 同様・類似の業務の実績

奥琵琶湖パークウェイ自然保護施設管理・清掃業務（平成 25 年度市から受託）

湖岸緑地公園管理業務（平成 25 年度市から受託）

西浅井コミュニティバス運行業務（おでかけワゴン）（平成 25 年度市から受託）

琵琶湖森林キーパー育成事業「山門水源の森」 （平成 25 年度県から受託）

レストランつづら尾崎管理運営業務 （平成 25 年度市普通財産使用貸借）

つづら尾崎売店管理運営業務 （平成 25 年度市普通財産使用貸借）

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A 4 版）を作成してください。

7 各施設の事業に応じた効率的かつ効果的な事業の推進について

① 北淡海・丸子船の館

(ア) 丸子船を紹介できる適切な案内人の配置計画について

これまでの集落の取り組みや生活を見学者に語り後世に伝える重要な施設であり水運時代の地域の生活文化を語れる人材を当館の案内人（3名による交代勤務）として引き続き配置します。

(イ) 資料の調査研究及び啓もう普及活動に関する計画について

大浦集落や塩津浜集落にある歴史研究会との連携を深め、個人所有の文献等を調査し、協力を得て公開していきます。また、当社が作成した丸子船の館のホームページにおいて、情報を随時公開していきます。

② 奥びわ湖水の駅

(ア) 地域資源を用いてのブランド形成・商品開発及び販売によって地域資源の価値を向上させる計画について

当社が平成17年度から進めてきた柿のポット栽培（太秋と新秋）については農業普及員等の生産指導の成果から、地域で生産されたものが店頭に列ぶようになりました。今後も生産管理に改良を加え、良質なものを安定して供給できるよう実験・実証を進めていきます。また、加工販売部門とも連携し、試作品の製作も手掛けており、平成26年度において当施設内での試作品の販売を計画しています。

(イ) 地場産品の直売を通じた住民活力の醸成を目的とする地域の生産者と一体となった事業について

地域の自治会をはじめ各種団体が参加されるイベントを、農林水産物出荷組合の生産者と一体となって開催しています。農業者が交流することで、農産物の栽培が生き甲斐となる方が増えています。地域住民はもちろん都市住民との交流の場として、大きく貢献しています。

(ウ) 道の駅の持つ機能（休憩機能、情報発信機能、地域連携機能）を発揮するための計画について

国土交通省の道の駅情報館を利用し、地域の魅力ある情報を発信します。

室内には、地域の名所旧跡を描いた絵画や写真を数多く展示します。また、魅力ある地域の素材を案内するリーフレットを作成し、観光客に提供します。

③ つづらお荘

(ア) 観光、レクリエーション及び地場産品の振興に関する計画について

加盟する「奥びわ湖観光協会」や奥琵琶湖パークウェイ、道の駅「塩津海道あぢかまの里」と連携した体験プランを企画し、情報発信することで地域の魅力を宿泊客にアピールします。また、地域の食材を使った料理を提供し、地域の魅力を伝えます。

奥琵琶湖パークウェイの魅力：桜並木・紅葉・遊歩道・夕日

道の駅「塩津海道あぢかまの里」の魅力：直売所の地場産品・収穫体験

地域の食材：菅浦漁港・大浦漁港で水揚げされた湖魚

(ビワマス、ニゴロブナ、コイ、ウナギ、川エビ、アユ)

菅浦養殖の真鴨、近江牛、ジビエ(イノシシ)

山菜、山芋、野菜、地元産コシヒカリ

(イ) 観光振興を図るための拠点として活用の方向性について

体験型観光の拠点につづらお荘を位置づけ、体験プランの充実をはかります。琵琶湖岸の立地を生かし、穏やかな湖上でのレイクカヤック体験を積極的にアピールします。また、山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会や文化的景観の優れた菅浦集落との連携を密にして、自然観察ハイキング、菅浦歴史散策、須賀神社・都久夫須麻神社参拝の拠点施設とします。

④ 海道・あぢかまの宿関連施設

(ア) 乗車券販売を適切に行える窓口担当者の配置計画について

窓口担当者には、業務に精通しているJRの研修受講者2名(隔日勤務)を配置します。また、サービス充実のため、総務部及び両駅間の応援態勢を整えます。

(イ) 駅利用者の利便性向上に関する計画について

地域の人材を生かした観光案内、行き先に応じた交通機関の案内、レンタサイクルの利用案内など適切な情報提供に努めます。

(ウ) 地域の資源を活用した地域住民相互及び地域住民と駅利用者との交流促進について

地域内の風景写真や深坂古道紹介写真など待合室に掲示し、観光案内に活用するとともに、駅利用者と地域住民の交流が図れる待合室を目指します。

⑤ 永原駅コミュニティハウス関連施設

(ア) 乗車券販売を適切に行える窓口担当者の配置計画について

窓口担当者には、業務に精通しているJRの研修受講者2名(隔日勤務)を配置します。また、サービス充実のため、総務部及び両駅間の応援態勢を整えます。

(イ) 駅利用者の利便性向上に関する計画について

琵琶湖周辺にある保養施設や宿泊施設の利用客が多いものの、交通の便が悪いことから交通機関の案内、レンタサイクルの利用案内、おでかけワゴンの活用など適切な情報提供に努めます。また、観光客向けの周辺案内図を作成して提供します。

(ウ) 地域の資源を活用した地域住民相互及び地域住民と駅利用者との交流促進について

多目的ギャラリーにおいて、水源の森100選である貴重な高層湿地の保全活動を行っている山門水源の森の企画展や地域の写真愛好家による写真展等を開催し、地域住民と駅利用者との交流の場を提供します。

⑥ 地域の人材活用、雇用の創出その他地域との連携の内容

(ア) 地域の人材活用、雇用の創出について

地域を中心に人材を集めて育成し、それぞれの施設を支えるスタッフを年間契約で現在30人雇用しており、そのほかにも施設運営に必要な協力団体の創設を主導し、奥びわ湖水の駅農林水産物出荷組合(280人)、西浅井町農産物加工グループ「さざなみ工房」(40人)、西浅井町体験民宿組合(4宿)、有限会社カンポ(20人)の活動を支援しています。いずれの団体とも深い信頼関係で結ばれており、それぞれの団体を通して地域での活動が広がり、人材育成と雇用の面で大きな効果を上げています。

(イ) 施設の一体的な管理を通じた地域の各主体との連携、地域の活性化について

西浅井地域の資料館、直売所、宿泊施設、駅前施設は、当地域への来訪者を迎える重要な施設であり、それぞれの役割は違っても、地域の振興を図る上で深く連携しており、一括管理することで、情報の共有と充実した地域全体での「おもてなし」のサービスを提供することができます。

これらの施設を連携し、利用者の便宜を図るための新しいサービスを創造し、施設の機能を最大限に生かすことでこの地域の魅力に繋げ、賑わいを創出することができます。

北淡海・丸子船の館では、他の施設と連携し次の事業に取り組みます。

関連施設のホームページ上で、丸子船関係を充実

湖上水運をテーマとして講演会の開催

つづらお荘では、他の施設と連携し次の事業に取り組みます。

体験プラン「奥びわ湖悠久の歴史故郷体験」の提供・事業実施

新メニューの提供・地場製品の活用

奥びわ湖水の駅では、他の施設と連携し次の事業に取り組めます。

農作物栽培相談室の開催・技術指導

出荷者褒賞制度の実施・出荷参画者研修の実施

駅関連施設では、他の施設と連携し次の事業に取り組めます。

レンタサイクル利用のための周辺案内図の作成・配布

レンタサイクルの貸出（自社による台数確保）

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

8 自由提案

その他施設の管理運営業務を効果的・効率的に推進していくために提案したいこと
貴団体の独自性やアピールしたいこと

当社は、平成13年4月に旧西浅井町の全額出資により設立された会社で、設立当初の目的どおり、行財政改革の一環で、行政のスリム化を図るために、事務事業のアウトソーシングの受け皿としての役割を果たしてきました。公務員でなくても処理できる事務事業や民間がすることでより充実したサービスが見込める事務事業を対象として積極的に受託し、住民の力を生かして効率よく取り組んできました。

また、地域の活性化と雇用の場の拡大を狙いとしていることから、地域外貨を増やし、地域内で循環させる仕組みを構築するとともに、余剰時間を社会貢献に生かしたいという住民の力を借りる登録制雇用制度を立ち上げ、年間雇用と日々雇用に分けて、登録者に希望する職を提供してきました。

主な社業としては、公の施設の管理を担ってきました。平成18年度からは、指定管理者制度が導入され、指定管理者となって西浅井地域振興関連施設を運営し、現在2期8年目を向かえています。また、指定管理以外の主な社業としては、県から受託している琵琶湖森林キーパー育成事業（山門水源の森）や市から受託している奥琵琶湖パークウェイの自然保護施設管理・清掃業務、西浅井コミュニティバス運行業務（おでかけワゴン）などがあります。さらに社会貢献活動としては、西浅井地区地域づくり協議会の構成団体として、地域振興の中心的な役割を果たしています。毎年11月と3月に開催する西浅井地域振興イベントを主導し、地域の賑わいを創出してきました。

当社は、設立から12期（昨年度）までの間、一度も損失を出すことなく地域に根ざした堅実な経営を続けてきました。

今後も、山門水源の森、深坂古道、奥琵琶湖パークウェイ、賤ヶ岳、木の本地蔵竹生島などの観光資源をはじめ、国の重要文化的景観の選定調査が進められている菅浦集落を生かして、県内外から注目される新たな観光ツアーを企画するなど、地域と連携した地域振興事業を積極的に展開していきます。また、西浅井地区地域づくり協議会の構成団体としても、奥びわ湖水の駅をはじめ、各施設に関係する住民と協力し指定管理施設を地域の担い手と都市住民との交流の場として活用し、イベントを開催するなど地域振興の中心的な役割を果たしていきます。さらに、地域と深く連携し、地域振興に寄与する事業や関係団体が計画する事業を積極的支援していきます。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。